

保護者の皆さま

小田原市立国府津小学校
校長 浜口 勝己

令和5年度 学校評価 保護者アンケートの結果について

早春の候、保護者の皆さまには、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、過日は、令和5年度の学校教育活動の評価にご協力をいただき、ありがとうございました。このたび、その結果について、次のとおり取りまとめましたので、お知らせいたします。

次に示した各項目の数値や多くのご意見を参考にしながら、今後の取り組みをより充実したものにしていきたいと考えております。今後とも皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

1 質問内容について

学校評価（保護者アンケート）の設問は、本校のグランドデザインに基づいた質問項目となっています。

学校教育目標

㊦ 向上心を持ち ㊵ 美しい心で ㊴ 強い心と体 の子

<質問内容>

○「こ」向上心（学び合い）に関すること

- 1 お子さんは、各教科の基礎・基本の学習内容を身に付けている。
- 2 お子さんは、相手の話を聞いたり自分の考えを伝えたりしながら考えを深め、学んでいる。
- 3 お子さんは、粘り強く考えたり、よりよい学習の仕方を工夫したりしようと努めている。
- 4 お子さんは、学習に主体的に取り組み、友達との学び合いを通して課題を解決しようと努めている。
- 5 お子さんは、家庭で毎日勉強する習慣がついている。

○「う」美しい心（認め合い）に関すること

- 6 お子さんは、自分のよいところを知り、友達のよいところも認めることができる。
- 7 お子さんは、相手の気持ちを考えて行動することができる。
- 8 お子さんは、あいさつができ、礼儀正しい行動をとることができる。
- 9 お子さんは、感謝の気持ちをもち、「ありがとう」を自然に言うことができる。

○「づ」強い心と体（体力向上）に関すること

- 10 お子さんは、自分の健康や安全に気をつけて生活している。
- 11 お子さんは、栄養バランスよく食べることで体力向上に努めている。
- 12 お子さんは、外でよく遊ぶなど運動することで体力向上に努めている。

○学校教育目標に向けた学校の取組に関すること

- 13 学校は、子どもが学習に主体的に取り組み、学び合いを通して課題解決できるような授業づくりや学習指導を行っている。
- 14 学校は、インクルーシブ教育に取り組み、個に応じた指導や学習・生活環境の整備を行っている。

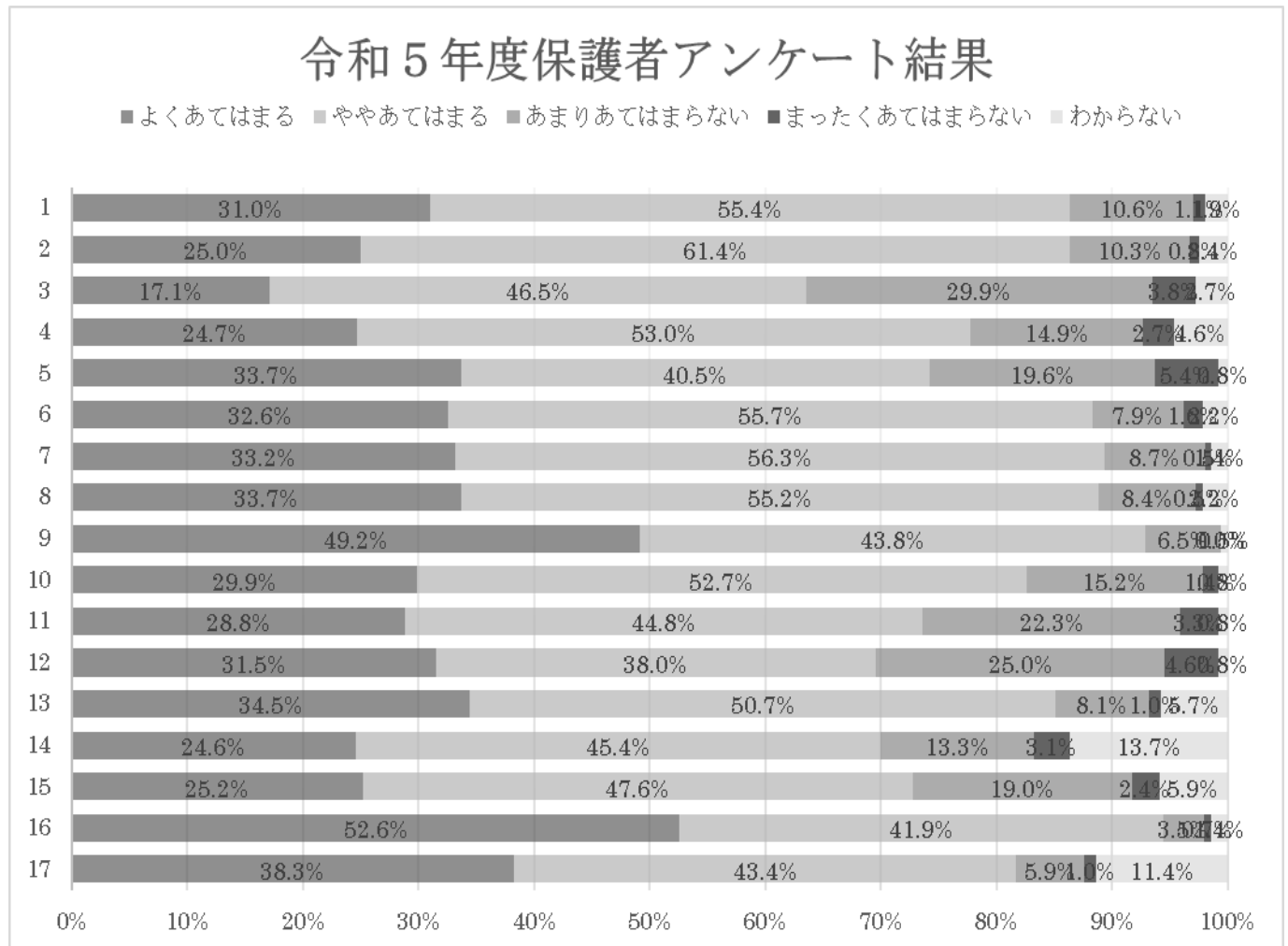
- 15 学校は家庭学習の充実を図ることで家庭との連携に努めている。
- 16 学校は、学校・学年だより・ホームページ等で学校の教育方針や様子等について家庭に積極的に情報発信をすることで、家庭との連携に努めている。
- 17 学校は、地域の資源（人材・施設等）を活用した学習を行っている。

2 結果について

(1) 集計結果

調査数：482 回答数：368 回答率：76%

実施方法：さくら連絡網アンケートにて（12月8日～12月22日）



○「こ」向上心（学び合い）に関すること

- ・「1 基礎基本の学習内容の定着」「2 相手の話を聞いたり自分の考えを伝えたりしながら考えを深める学び」については、肯定的な回答が8割～9割と高めになっています。
- ・「3 粘り強く考えたりよりよい学習の仕方を工夫したりすること」の肯定的な回答が約64%と低く、「あてはまらない」回答が約34%と高くなっています。

○「う」美しい心（認め合い）に関すること

- ・すべての項目において、肯定的な回答が9割程度と高くなっています。
- ・特に、「9 感謝の気持ち」については、肯定的な回答が約93%と高くなっています。

○「づ」強い心と体（体力向上）に関すること

- ・「10 健康や安全に気をつけた生活」については、肯定的な回答が約83%と高めになっています。

- ・「12 外での運動」による体力向上は、「あてはまらない」回答が約30%と高くなっています。

○学校教育目標に向けた学校の取組に関すること

- ・「13 学び合いをととした授業づくり」「17 地域の資源を活用した学習」については、肯定的な回答が80%以上と高めになっています。
- ・「14 インクルーシブ教育の取組」「17 地域の資源を活用した学習」については、「わからない」という回答が高めになっています。
- ・「16 家庭への情報発信による家庭との連携」については、肯定的な回答が約95%と高くなっています。

(2) 考察

○「こ」向上心（学び合い）に関すること

- ・本校では、仲間との学び合いを通して学びを深める授業づくりを目指しています。保護者の方からも児童のそのような学びの姿を認め肯定的に見てくださっていることがうかがえて、うれしく思います。
- ・学び合いを通して学びを深める授業については、児童アンケートにおいても、「授業が分かりやすく楽しい」「友達と一緒に考えたり教え合ったりできる」という項目で9割程度の児童が肯定的な回答をしています。今後も、仲間と学び合う意義を踏まえ、学習指導要領にも提唱されているように、将来に役立つ力を身に付けさせられるよう、「主体的・対話的で深い学び」の実現による授業改善に取り組んでまいります。
- ・「主体的な学び」の一面である、粘り強く取り組んだりよりよい学習の仕方を工夫したりすることについては、本校の児童の課題として伸ばしていきたいところだと捉えています。児童アンケートにおいても、「わからないときは学習の仕方を工夫しているか」という項目で肯定的な回答が7割台と低めになっています。「わからない」と言える雰囲気づくりと、粘り強く工夫しながら取り組めるように指導していく必要があります。

○「う」美しい心（認め合い）に関すること

- ・あいさつや「ありがとう」の気持ちを表現することについては、児童の強みととらえ、人とのコミュニケーションの基本として今後も声をかけていきたいと思っています。
- ・「6 自分のよいところを知り、友達のよいところを認める」の項目に関わって、児童アンケートの結果から、「友達のよいところを見つけることができる」児童の肯定的な回答が9割程度と高い一方、「自分のよいところがわかる」児童の肯定的な回答が6割台と低くなっています。一人ひとりのよさを認め自己肯定感を上げる必要性が課題として見えてきました。

○「づ」強い心と体（体力向上）に関すること

- ・健康、安全な生活について、保護者アンケートでは肯定的な回答が高いですが、児童アンケートでは、「安全な生活」に意識が高いことに比べ、「健康な生活」への意識が低めでした。早寝早起き朝ごはん、手洗いうがい、テレビやスマホの時間など、児童が考える具体的な課題は捉えられませんでした。実態を把握し、自らよりよい生活習慣を実践することができるよう働きかける必要があります。
- ・食育について、栄養士による食育指導や給食週間の取組などを実施してきました。日々の食生活につながるよう、声をかけていきたいと思っています。
- ・外での運動による体力向上について、長昼休みにおける外遊びの推奨等を図ってまいります。

3 保護者の皆さまからのご意見やご質問などについて

保護者の皆さまからいただいた、ご意見やご質問などの中で、主に学校全体にかかわると考えられるものについて回答させていただきます。

なお、紙面の都合上、ここで取り上げることができなかったものについては、PTA本部・運営委員会や関係機関などへお伝えします。また、今後の学校運営の中で、教育活動に生かしたり、来年度の課題として検討したり、改善したりするなどしていきたいと考えています。直接、お尋ねになりたい場合は、学校までご連絡くださるようお願いいたします。

(1) 授業について

- ・子どもの苦手な項目について何気なく話をしたが、それを覚えていてくださり、授業で取り組んでくれ理解することができた。
- ・学習に対する姿勢が明らかに向上している児童も確認できたが、授業中しっかりと席に着き前を向き、先生の話を目で聞く、私語を慎むことができない子がいることに先生のご苦労を強く感じた。

学級集団での授業づくりにおいて、すべての児童が学びにおける充実感や満足感を得ることができるよう、個に応じた支援や「個別最適な学び」を実現させていくことが大切と考えます。授業でのお子さんの様子や、どのような支援をしたら成長を促すことができるのか、保護者の方とも相談させていただきながら、日々の指導に生かしていきたいと思えます。お気軽にご相談ください。

また、今年度は、個別支援ルームの開室や、高学年教科担任制によるより専門的な指導等を行ってきましたが、今後もそのような取組を継続してまいります。

話を聞く姿勢などの学習規律については、あたたかな学級づくりのためにも、繰り返し指導をしていかなければなりません。一方、児童の実態に応じて個別の支援が必要な場合もあります。ただし、限られた人員により個別の支援が十分に行えない現状もあります。人員の確保については教育委員会等への働きかけを継続していくとともに、校内の体制においてより充実させることができるよう試行錯誤してまいります。

(2) 学習評価について

- ・テストの在り方が不透明。「伸びゆく子」で学期を通した結果が出るはずだが、きちんと成績に沿って出されたものか信憑性が低い。
- ・図工では、先生のよしとする工作が決まった傾向があり、自由に創作すると評価されない部分を感じた。

学習評価については、各教科の単元目標に沿って、評価規準を設定しています。本単元の学習をとおして、どのような力が付いたらよいかということを表したものです。評価の観点は、「知識・技能」だけでなく「思考力・表現力・判断力等」「主体的に学習に取り組む態度」があります。

そして、これらの評価の方法は、テストの点数だけでなく、ノートやプリントへの記述内容、授業での行動観察、技の披露などのパフォーマンスといった、様々な方法が挙げられます。例えば、図工では作品の結果だけでなく、発想や構想も評価規準に示されており、制作の計画や過程の様子等も評価の対象となります。そして、これらの様々な評価結果を総括したものが、学期末の「のびゆく子」に表れることになります。

学習評価をとおして、児童が自ら学びを振り返り次への意欲につながれること、また教師は自らの指導を振り返り授業改善に生かすことが大切です。学習評価について、ご不明な点等ございましたら、ご案内している「通知表相談日」でのご相談もご検討ください。

(3) ICTの活用について

- ・Chromebookを活用した授業は、とても斬新で、これからの社会を生き抜く力が身に付くと思った。
- ・もっとChromebookを使った学習があっても良いのではと思う。パソコン授業を取り入れてほしい。

ICTを効果的に活用した授業づくりは、全国的にも喫緊の教育課題となっています。学年の発達段階によりますが、本校でも、教材の提示、調べ学習、個別課題への取組、プレゼンテーションなど様々な場面で活用しているところです。過日、市教育委員会から、国府津小のICT使用率が昨年度より大幅にアップした旨連絡がありました。

ICTは使うことが目的ではなく、使うことで学びの質が高まることを目指します。また、児童の情報活用能力を高め、児童が自らICTの活用を選択できることが大切だと言われています。そのようなことを踏まえ、効果的なICTの活用について、職員研修も行っています。ICT活用への励ましをありがたく思います。

(4) 体験学習・地域学習

- ・コロナ禍が明け校外活動も再開して経験できることが増えて、学校であったことの報告の質が変わってきたように感じ喜ばしく思う。
- ・地域を知りまた密着を図ることによって、住んでいる国府津を愛し、子どもたち自身が住みやすい地域を作る担い手になってもらえたらと思う。
- ・体験はとても貴重な学習だった。大雨でない限り実行してほしかった。体験する機会を過剰な保護で奪わないでほしい。

コロナ禍が明け、校外に出かける学習や、地域の方と直接関わりをもつ学習を多く行うことができました。児童が興味関心をもって主体的に学ぶ姿は印象的でした。地域・ご家庭の様々なご理解とご協力に感謝申しあげます。様々な直接的な体験をとおして、地域で育ち、地域に役立てる子どもたちを育てるために、今後も体験学習や地域学習の充実を図ってまいります。

天候によるやむを得ない延期や中止については、予報等の情報を収集し、児童の健康と安全を第一として総合的に判断しております。苦渋の選択の結果を残念に思う児童の様子を見ると心が痛みますが、ご理解をいただけるとありがたく思います。

(5) 「美しい心」の教育について

- ・自分たちで考え行動をすることで身に付いたことがたくさんあった。人の悪いところを探り指摘するのではなく、良いところを見つけ誉める、家庭教育を心がけている。
- ・人との関わり方や言葉によって人を傷つけてしまうといった人間的な部分の学びも、もう少し日常的にあっても良いと思う。
- ・たてわり班での活動を楽しそうに語る姿があった。異年齢の交流は引き続き行ってほしい。

学校でも児童には、相手の気持ちを推測し、相手の気持ちを考えて言葉を発したり行動したりする姿勢を身に付けてほしいと願っています。いじめの未然防止の観点からも、互いを尊重する温かな学級集団づくりや、道徳教育の充実を図ってまいります。また、トラブルの際には、事実等を踏まえて、保護者の方と連携しながら、的確かつ組織的に指導していけるようにしていきます。

たてわり班での活動については、異学年と関わる機会も多く、異学年を思いやる気持ちや、それぞれの立場で役割を果たそうとする姿勢が育っています。意義深い活動なので、今後も継続して実施してまいります。

(6) 家庭学習について

- ・学年で統一して宿題や課題が出されるようになり良かった。
- ・復習を兼ねた宿題をもう少し増やしてほしいと思う。
- ・自主学習についてとても苦勞した。
- ・自主学習について子どもがんばっているの、お忙しいとは存じますが、毎日確認印やコメントをつけて返却してあげてほしい。

家庭学習については、基礎基本の内容から、学年があがるにつれて自主学習といった自分で学習を工夫する内容も取り入れているところです。お子さんの実態に応じて家庭学習の適切な内容も量も様々で、学校も児童の学習習慣形成に向けた家庭学習の在り方を模索しています。ご家庭でのご協力やお子さんへの励ましに感謝申し上げます。

今後も、家庭学習の習慣化の意義を学校・家庭とで共有しながら、児童に働きかけていきたいと
思います。教員も児童の頑張りにきちんとフィードバックできるよう努めます。

(7) スクールボランティアについて

- ・学習参観とは違った普段の子どもたちの様子を知れたり、子どもたちとふれあえたりして楽しませてもらった。参加できる保護者は限られるかもしれないが、今後もどんどんお声がけほしい。
- ・ボランティアの人数が足りない場合は、学年関係なく学校からお知らせをいただくと、もしかしたら増える場合もあると思った。

コロナ禍が明け、今年度は、4年ぶりに実施した水泳指導、校外学習への付き添い、図工の授業での支援等、スクールボランティアをお願いさせていただきました。児童の安全な教育活動を見守っていただき学校として大変ありがたく思うとともに、来ていただいた方にもご意見のような楽しみを感じていただくと大変うれしいです。学校としては、できる限り、教育活動の早めの計画を心がけていきます。今後も児童のためにお力添えいただく場合はどうぞよろしくお願いいたします。

(8) おたよりについて

- ・持ち物が分かりづらい時があるので、おたより等にもう少し分かり易く記載していただけるとよい
- ・普段と違う持ち物(図工などで個人で準備する材料など)は、余裕をもって(1、2週間前位)お知らせ頂けると助かる。

ご意見、どうもありがとうございます。おたよりでの持ち物のお知らせについては、なるべくわかりやすく、早めにお知らせすること心がけます。また、ご不明な点がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

(9) PTA活動について

- ・PTA活動は、共働き世帯が増えた現状で、参加することに無理があります。

今年度も、PTAの役員の皆様、会員の皆様が児童の成長や喜びを願って活動して下さったことに大変感謝申し上げます。PTAは、子どもたちの健やかな成長を図ることを目的とした社会教育関係の自主団体です。保護者と教職員とが対等の立場で協力し学び合う団体です。このことを踏まえ、PTAのよりよい在り方については、今後議論をしていくところでありますし、PTA運営委員会においても話題にあがっているところです。PTA本部では、例えばプール開放についてアンケートを実施して会員の皆様の意向をうかがったり、その他様々な活動や業務の在り方を検討したりしています。

ご多用の中、貴重なご意見や励ましのお言葉をいただきありがとうございました。
いただいたご意見をありがたく受け止め、今後の国府津小学校のより良い学校教育に
生かしていきたいと考えております。
また、学校評価の児童アンケート及び教職員の自己評価の集計結果については、ホ
ームページに掲載しますのでご参照ください。

問い合わせ先
国府津小学校
教頭 都築
TEL 48-1777